

神戸のこと 手当り次第

淀川 長治
え・中 西 勝

商売がら毎日一本は映画を見ている私も、暮れもぎりぎりの、大晦日から明けて五日の松の内までは、映画からさらに離れて……と云いたいのだが、実はこれがやっぱり映画のインスタントそうでも申したいテレビにくらいつき紅白歌合戦などにひざのりだしているのだから、いまにあのチラチカチカで目がつぶれてしまうかもしれない。

さて、私のジャリのころのお正月というものは、もちろんテレビなどあるわけもなく、大晦日ともなると検番ちかい④（まるイ）の車屋から人力車のお若いのが四人五人と、それが何杯も井戸水運んで、外もうちらもきれいに掃除がゆきとどき、夜なかのうちに定紋つきの紺のまん幕を家の表に張りめぐらし、しめ飾りが部屋々々の欄間にさがり、家の表の門松にいたっては両側から軒の上かけ、四角いアーチの松のトンネルさながらに、その中央には色鮮やかな橙（だいだい）一個。門松、まん幕、それで大きな雨戸がガシンと閉って、たださえ暗い家これでもう手さぐり気分。



そのうえ神棚、欄間、小窓までおしめおしめ（輪飾り）のわらづくし。ガラガラツと表から開けるその表玄関には金屏風緋もうせん、大げさなお鏡の上には赤光りした海老がひげをピンと二つそらして、その手まえには紅梅の半咲き福寿草の半びらき、これに小松のみどりも小器用な正月盆栽が居すまして、これで夜明けをまちかねドサリ……年賀の一束二束三束が郵便屋の「へい、おめでとう」で放りこまれる、あの正月の懐しさ。

×

家に風呂があるというのに、大晦日にはわざわざ「やなぎ湯」に馳けこんで、いつもならもうとつくにしまい風呂の夜なかの二時が人で人でたてこんで「オメデトーハン」の笑顔がいっぱい。女湯の騒がしさと男湯の騒がしさが高い青ペンキの天井でひとつにはね返るそののぼせかた、その年越し気分のみそか銭湯の面白さ。湯がぬのまわりの化粧タイルもいまとちがって一枚一枚が大きく四角で、白地にあいのその西洋からくさ模様のスベインがわらがまた懐しい。大晦日でやけに沸か

してあふらせて、それで湯ぶねの中から「えらい熱いでエーッ」番台めがけ背のびして大声で呼んでポンポンポーンと手を叩く。すると番台はその手の音で紐をグーイと番台に坐ったままで片手のばして曳きたぐる。その紐は男湯のが一本、女湯のが一本。女湯のポンポンポーンで女湯の紐を曳く。その紐は長く奥の釜たき部屋まで電線まがい結ばれて、そのグーイと同時に湯ぶねの一方から真水がザーツと流れ出るその仕掛けの嬉しさよ。

×

元旦は家じゅうみんな揃って、芸者しゅうは紋つきの裾なが。広間にずらり居並び、いつせい声をあわせて「あけまして……へい……おめでとうさん」。この十五人十六人と声揃えての「あけまして……へい……おめでとうさん」で正月の楽しさはこみあげる。

男は朱塗り女は黒塗り、その膳がめいめいひとりびとりの前に、まるで芝居の舞台そのままにずらりと派手に据えられて、男は金の、女は銀の、膳は定紋つき、男は九枚^{くまいざき}笹、女は桔梗の、その紋は腕にも小さくそえられて、その黒っぽいほどの深い朱塗りの腕のふたとと中は白味噌の餅雑煮。その朱塗りの腕からハツと目にしむ味噌と餅のその白さ。

やがて朝も六時をすぎると、パツと電燈が消える、それで広間四隅の黒ぬり足なが燭台ランプに灯を入れる。大きな手まりそのままの、上半分透きとおり下半分くもりガラスの、そのランプの光が浮いてきらめき、いよいよ正月は本格化。あのころ、紅ざらから唇に移した芸者の口紅が、ランプの灯影で玉虫に光り、その口のおちよぼぐらし

て口紅よごさぬ心意気で餅を口によせるそのときの唇の奥から覗く歯のかわいらしさ。

×

正月二日は、とろろ汁に青海苔ふりかけ、その青海苔の浅い緑がまるでとろろの上にみどりの血をにじませたその妖しい美しさ。それよりもこの日は、書き初めという世にもつらいものが待ちこまえ、墨をする、筆を揃える、大きな和紙を、耕もうせんの上に二つならべて、羽織はかまで先生を待つ。

毎年この日、習字の先生が、これも羽織はかまで、それにお髭が似合って、仁丹のマーク、この先生を、チヨーホーカイケンとあだ名も筆の名からとった二中の有名な習字のその先生が……お見えになると、さてあらたまった挨拶のそのあとで、父なる親父のまん前でひごろの腕のほどを見せねばならぬその苦しさ。

筆を片手に高々と、エイツと下ろして一字一かくひくごとに、ウン、ウーッ、エイツと腹からしほるその声に、親父は感心、先生ごきげん。出来上ったはみみずの行列、黒蛇の運動会。それでも父は「ほほう、ようできた」先生は「手すじはおよろしい」。そのそらぞらしさ。それも道理、そのあと二人差し向いの二の膳、三の膳の、そのさしつさされつが実は毎年この日のほんとお二人の目的。やがて先生、上きげんで御帰りのそのころは、こっちはとくに抜けだし、新開地のニコニコ大会のその活動写真を二館三館と夢中で見て廻る映画ばしごの真最中。かくて正月かくも楽しく嬉しくて、しかもフトコロはまだ小使いがいっぱい。

(映画評論家)

ダラスの思い出

阪 本 勝

一九五七年十一月七日から十二日まで、私はテキサス州ダラスで過ごした。二ヶ月にわたるあたたかいアメリカ旅行の途次、ダラスに六日間も滞在して貴重な時間を費やしたことは、決して望ましいスケジュールではなかったが、いろいろの都合でそういうことになってしまったのだ。そのかわりその数日間、私は市内の各所を見てまわり多くの人々に会い、テキサス大平原のなかにポツンとできあがったこの異様な都会の風物を満喫した。この町でケネディ大統領が暗殺されたとき、私の脳裏には過ぐる日の思い出がまざまざと蘇ってきた。

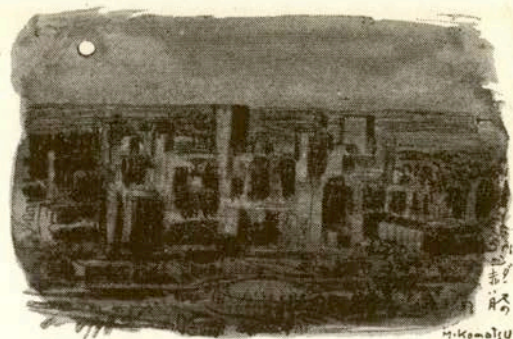
地図を開けばすぐわかるように、テキサス州はアメリカ最大の州で、面積は日本の約二倍もあるそれでいて人口僅か八百万余の茫々たる大平原である。その東北隅に近いところに、ダラス市がある。新聞に報じられたところによると、人口は二十五万ともいい、三十万ともいいまちまちで、正確なことはわからないが、いずれにせよ、何の変つてもない平原の都会だ。町全体はひろびろと設計されていて、十一月の眺めは荒涼たるものであった。雨に閉じこめられた日はひどく淋しく、しきりに郷愁をおぼえた。

北海道のサツポロや旭川を思わせるような広い通りがあちこちにあったが、ケネディが暗殺され

たのはどの通りなんだろう、などと考えたりする。ともかく私があてもなく歩きまわった幾多の大通りのうちのどこかで悲劇が起ったのだ。深い感慨をおぼえざるを得ない。

紀行日誌によると「ダラスは新興都市で綿の集散地だが、他面宗教的ムード強く、文化の中心地でもある」と記されている。またつぎのような一節もある。「しかし半面政争激しく、かつ露骨である」

政争の激しさをどこで私は感じとったか。それはつぎのような事情による。十一月十日、私はウィリアム・エイキン夫妻に昼食に招かれた。エイキン夫人はこの地方の民主党の全国代表で、共和党に対する毒舌を吐き続けた。前の月の十月にはソ連の人工衛星第一号「スプートニーク」が飛んで全アメリカ人が敗北感と反ソ的感情に興奮した直後だったので、アイゼンハウワー大統領にむかっていたかの女は、この政敵を罵倒し、スプートニークをもじって「かれはプー・プ・ニーク (Poopnik) だ」といきおろした。プー・プはアメリカの俗語で、バカヤロウ、マヌケという意味だ。私はあつけにとられてかの女の毒舌をきいていた。だいたいダラスは共和党ムードの強いところだから民主党幹部のかの女はムカツキ続けたのだ。しかるにかの女が熱狂的に歓迎したのであろうケネ



喜益松小・カット

ディ大統領は、共和党の嵐に吹きまくられながら若い命をこの町におとしたのである。

半面ダラスはたしかに宗教的な町である。ある夜私はこの町にある南メソヂスト大学の学生たちに招かれて懇談会に出席した。私はそこに若い大学生たちの真剣な思想的悩みや宗教的熱情を見出した。この夜の光景は私の他の文章にもあるから省略する。

そうかと思うと、ここにはまだ西部劇的な殺伐な気風が残っていて、宗教とか文化とからは程遠いものが感じられる。そのことを私はフィッシャーという貿易商人から昼食に招かれて聞いた。フィッシャーさんとはその後も交通をして、貿易上の便宜をはかってあげた。かれは言った。「ダラスはカクテルですよ。宗教的で、文化的で、そして野蛮ですよ。だいいち鉄砲類の携帯が事実上自由なんですからね。アメリカでこんなところは

ありません。ガバナー・サカモト、お国ではどうですか」

私は日本の実情を説明した。かれは深刻な顔をしてきいていた。

今一つ記しておきたいことがある。八日夜郊外にあるマルゴ・ジョーンズ劇場にいった。円形の異様な小劇場である。出し物は「ダブリンより来た悪魔」。芝居が終ってから支配人兼演出家のラムゼイ・バーチ氏と話した。私はそこに築地小劇場勃興のころを思わせる若々しい青年たちの演劇的情熱を見た。

それやこれやを思いあわせてみると、ケネディ大統領は、文化、宗教、政争、野蛮、殺伐のカクテルのなかに身を乗り入れ、捨てずともいい命を捨てたのだ。テキサスはもとメキシコに属していた。ワシントンの脈膊が正しくいわばまだ通うまでにはまだ長い年月を必要とするであろう「異国」なのだ。かえすがえすも軽卒なことをしたものだと思えてならない。

思い出深いダラスよ。旅日記をまた繰ってみると、

十一月七日（木）秋雨晴し。夜に入りて満月皓々として宙天にかかる。深夜眠りをなさず。

十一月八日（金）十六夜の月悲し。テキサスの月色血の如し。

十一月十日（日）ロバート・ボニフィールド邸に招かる。少女アレキサンダーの可愛らしさよ。

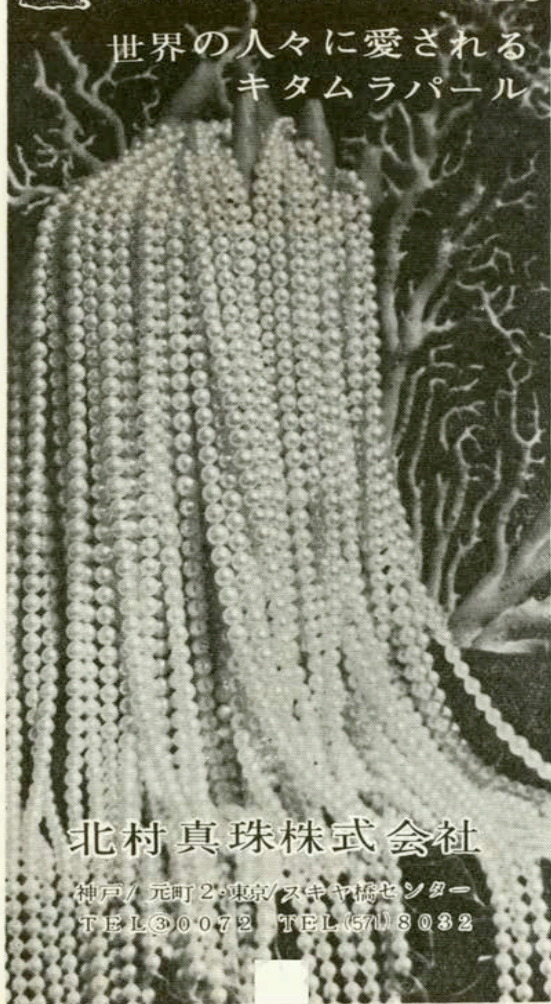
一九六四年が、アメリカにとっても、日本にとっても、平和で、明るく、良識豊かな年であることをいのる。

（随筆家）



KITAMURA PEARLS

世界の人々に愛される
キタムラパール



北村真珠株式会社

神戸/元町2・東京/スキヤ橋センター
TEL 30072 TEL 5718032


ROLEX

ローレックス
の時代です



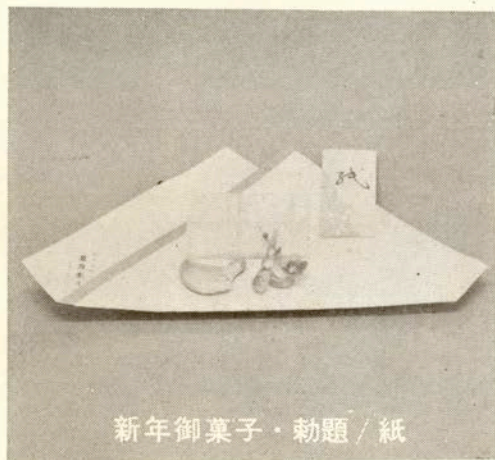
特約店



美田時計店

神戸市生田区元町三丁目
TEL 333 3333 (3) 1798

あけまして
おめでとう
ございます
'64



新年御菓子・勅題／紙

古い老舗に新しい味覚

新年菓1組 ￥65.
進物函 ￥700～￥2250

神戸  風月堂

元町3丁目 TEL③ 695・696

謹賀
新年



O-SHIBATA



柴田音吉洋服店

神戸・元町通4丁目 神戸 4-0693
大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106

神戸っ子

新春放談

砂野 仁

川崎重工業KK社長
兵庫県経営者協会会長

石野 成明

石野証券KK社長
神戸青年会議所理事長

写真は砂野川重社長



砂野 先日、日銀から依頼されて「あなたの経営に対する信念」と言うか「経営の哲学」を話して欲しいと言はれて、日本の重工業を代表して山際総裁にお話したのだが、いま、私の胸中に去来している重大問題と言えば、日本の労使関係が将来どうなるであろうかと言うことなんだ。

私は会社生活40年になるのだがその大半を労働問題と取組んで来たんだ。人間問題だナ、これが私の頭を離れないんだ。戦後の労使の関係を見てみると、日本の労働組合と言うのは、占領軍の政策で月たらずで生れた、発

育不全の子供なんだ。それが、自由化による競争激化のなかであって、好き勝手な要求をする、会社の経営がどちらを向いていようと欲しいと思うだけのものを要求する。そう言うことで、ここ20年近く経ている、現在はそれでいいとして将来はこれでは、いけないと見ている。

労使問題は分配の問題なんだ。その解決は、売上高から労働によって価値の増さない一切の費用を引いた、分配をし得る根元となる附加価値を、労働裁判所、というものを設けて、そこで分配を決定せよと言う訳なんだ。

例えば、全米（アメリカ）の全生産業の附加価値の分配は過去、50年、四分六なんだ。六分を企業に残して、四分を分配するその変差は一・六六と言う数字が出ている、戦争中をとおしそんなものなんだ。

経営が発展して行くためには、そう言ったルールが必要なんだ。その分配について労使、学識経験者、政府当局などで話合つて裁判所で判決をくだすまでは、労働争議をするべきでない。おたがいに産業の成長をとめるようなことをしてはいけないんだと言うような考え方にならなくてはいけないと思う。とに角、現在のような不安定な労使関係では、到底日本産業の発展はのぞめないと言う事。

それに、日銀の指導方針であり、世銀方式とも言っている、自己資本と他人資本を半分づつにせよと言うのがそれには条件がある。現在、金を借入れれば歩積をいれても一割で済む、ところが増資をしてその金を使えば二割儲けなければならない、現在の税制だとそうなる。そう言うことをそのままにしておいて、自己資本を増やせといつても、そんなもの増えやしませんよ。それなれば、増資して、それが設備資金に投入された場合、減免税を考えよと言ったんだ。最後にね、株式の配当についても、日本の重工業の配当は一割が最も適当な数字だ、若しそれ以上余力があるなれば、内部の体質改善に廻すべきだ」と説いているのだが、総裁はどう思はれますかと言ったんだ。山際総裁もそのとおりだ、参考にな

つたと喜んでおられたようですがネ……。

私はいつも、若い人に国の将来を賭けるべきだと思う議会政治では一番古い英国の、その保守党の代議士の平均年令が41か42才だ。労働党が43才。日本の自民党の代議士の平均年令は60才、こんなことでは駄目だよ。

ケネディ大統領は47才で亡くなった。キューバに革命をおこした、カストロが30代、韓国でも朴大統領が47才だが、あとは殆んど30代、日本でも明治維新をもたらし た志士達は20・30代の青年だった。そんな、青年こそ国家を動かす得るのだ。青年よ自覚せよといいたい。

ある哲学者がね、ローマ帝国の興亡について、青年の意気旺んにして国興り、青年の意気、衰えて、国滅ぶ、と言う名言をのこしている。ことは青年なんだ青年の力なり高い理想をしつかりと打立てて、国家の進展を押し進める時のみ、国は発展します。年寄りが出てきていろいろ言っているうちは駄目です」

石野 「今日は、最初から砂野社長にハッパをかけられたようなかたちになりましたが、私の思いますのは最近我々の年代層の中では、左顧右眊し、要領よく世の中を渡ろうと言う人が増えているのではないかと思います。

砂野社長のような素直な、きっぱりとした意見が出ないんです。ですから、青年は青年らしくやるのが本質であると思いますので、今年一年間、神戸青年会議所のメンバーが青年らしい気持を失はないように、素直、大胆に意見を出し、実行するように進めることが必要だと思つています。例えば、神戸市の問題にしても、兵庫県の問題、或は日本の国家の問題、思想的な問題また、先程、お話のありました労働問題にしても、大胆な意見をどんどん打出して行きたいと思つています。

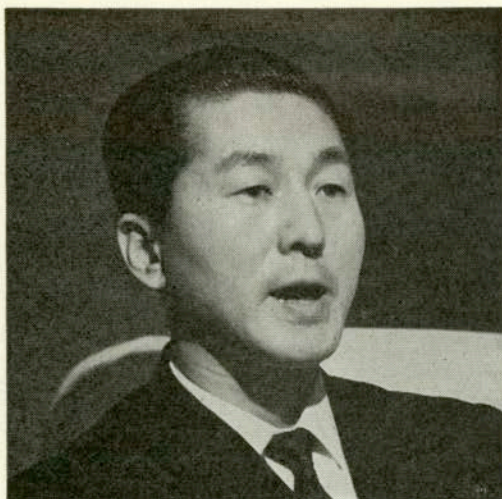
ただ、意見を出したとき、あいつは若い癖にべら棒なこと言う」と袋ただきにされたのでは適いませんので先輩にお願いしたいのは、我々が間違つたことをしたときは教え、叱つていただきたいし、良い場合は、よくやった、頑張れ」と声援していただくような方をお願い

たいしのです。ことは大胆に問題に取組んで若いエネルギーを結集して努力したいと考えていますが、それには、先輩方の、経験と円熟した思慮でカバーして載きたいと思えます。なんと言っても我々の仕事はむき出しになるし、どちらかと言うとブルドーザーで削るような仕事になりますので、最終的には、先輩方にかためていただいて、と思えます」

砂野 「それでいいんですよ。こう言えば先輩がどう思うだろうか、世間はどうかと言うことは考えないで、自分の本当に考えていることで充分なんだ。私はむしろ、青年は気魄をもって左顧右眊しないで、青年らしく堂々とやって見よ。若い時は失敗するのが当り前なんだ、失敗して、たたかれてそして、成長するのだ、何んにもたたかれない、室咲きの花は駄目だよ。本物にならないね」

健康にも、投資しよう

砂野 「私はいつも人から、意見が若いと言はれるんだ



写真は 神戸青年会議所理事長・石野成明氏

が、ただ、考え方が若いのではないんだ、私はことし65才、いまが一番健康なんだ。お見かけのとおりだ。私は、朝、5時30分か6時に起きて、そして、8時10分にかを出るが、その間、2時間ほどが健康法なんだ、真向法と称する健康法を中心に、40分の散歩を含めて2時間、面白半分ではなくて、業としてやっている。私の散歩は、雨が降ろうが雪が降ろうが決めたことは必ずやる。そうして健康を練り上げている。

青年といえども、すぐに年が寄るよ、時が経つのは早い。いつまでも青年であるためには、それにふさわしい努力をしなければいけない。誰れでも健康になりたいと思うだろうが、健康になるために、どれだけの努力をしているか金持ちになるためには、貯金をしたり、株を買ったり努力をしているが、それ程の努力を、健康のために、どれ丈尽しているか、それが私の健康投資論だ。

健康に対して投資しないで、健康であり得ないじゃないかと言うのだ。だから、私は、若い人に期待をすると同時に、若い人は身心を練る努力をしなけりやならないと思うな」

熱情と愛情で人を動かす

石野 私自身で考えている神戸青年会議所の基本構想は、昨年経済四団体として経済団体に参加しましたが、青年会議所としては、四分一の一の責任だけでは、青年会議所としては物足りない、すくなくとも四分一以上の責任を果したい、その為に青年会議所は、若さと英智と情熱を傾倒したいと考えています。もう一つの問題の方向なんです、青年会議所の活動には3つの柱があって(1)フレンドシップ (2)トレーニング (3)サービスとなっています、この3つのバックボーンは元来、ばらばらであるべきものでないんだと言うことで、この3つの柱が渾然一体になったところに、青年会議所の面目があると思えます。例えば、青年会議所に社会奉仕委員会というのがあると思いますが、この委員会の活動にしても、

新春、趣味談義から

従来の慈善活動的なものから一步進めて、地域社会なり、国家社会の改善計画を目指すべきでないか、社会の体質改善に努力した方がいいのではないだろうかと考えているんです。また、先程、砂野社長が言はれたように、労使問題についても積極的に取組んで行きたい考えです」

砂野 「青年会議所もつまるところ、経済団体なんだ、だから、問題の焦点を日本の労使問題に向けて、日本の労使関係はどうあるべきか、と言うような問題について若し、青年会議所が一致結束して、結論をだすならば、日本の産業に非常な貢献をするだろうナ……例え、どんな結論にしてもネ。それは、日本の青年経済人の決意なんだと言う裏づけがなくては駄目だけどもね。それにこれは、私がいつも青年に贈る言葉なんだが、これはベリヤスと言う占領軍大尉が北海道の夕張にいたとき、現在の日経連の前田専務理事（当時、北海道夕張炭坑所長）に言った言葉なんだが、"Man will follow a leader, Who is strong and fair." 人々は、或いは従業員は、強くて公正なリーダーについて来るであらう。人々の指導者たるもの、公正で強くあれと。また、女性には、石丸五兵衛と言う思想家の言葉で、"女性よ永遠の母たれ、おん身は観世音菩薩である。" これも非常に感銘の深い言葉だよ。母の愛情ほど清らかで貴いものはないんだ。私の会社で今度、新らしく取締役として就任する人達に、仕事の上での指導者であるのは勿論だけど、リーダーとして不可欠なのは、熱情と愛情だと言ったんですよ。熱情と愛情がなければ人々はついて来て呉れないんですよ、強くて公正なことも必要だが、いくら智慧があっても、熱情と愛情を欠いては指導者にはならないのだよ。だから、理事長となられたからには、こんなリーダーが育ちあがるように熱情を傾け、愛情をもって指導されることが望ましい」

石野 「大変、すばらしい人生哲学をうかがって、新しい、フアイトが湧きあがって来ました」

石野 「私の趣味といえば、麻雀なんですよ。それと、最近あまりやりませんが、奇術もそうです。百崎さん（ビオフェルミン社長）の弟子なんだけど、私が習い初めたのは、28才のとき、証券取引所の理事になって、酒席などでいつも指名されるものですから、百崎さんをお願いして教えていただいたんです。学生時代にはヨットをやっていました、これは、学生選手権をとるぐらいやったんですが、最近遠のいています。ほかに囲碁は現在、3段の免状をもっているんです」

砂野 「私はね。あれは『海運文芸』に書いたと思うんだが、戦争中に想い出があるんだ、伊藤修二郎という防衛総司令官、中将だがネ。その人が、酒を飲んで、その儘寝ては駄目だよ。脳細胞が開いちゃって年寄ってからボケル。私は飲んだ後は、帰ってから聖賢の書を読む」と言うんだナ。私は終戦後それを思い出して、私は飲んでから聖賢の書を読むと言うような芸当は出来ないし、酒を飲んだら麻雀をして頭をしめることにした。麻雀は人生の姿そのものだと思うヨ、麻雀の理法を悟ってすべてに生かせばいいんだ。

先日、山田無文師がこられて、味の素や塩のようにならないといけない。味の素も、塩もそれ自体味に変化はないが、他のものと交わることによって、千差万別の味を生み出す。禅と言うものもそんなもので、人生のなかに禅の悟りと言うものが加われば世の中に千差万別の味わいが生れる」と言うことを話されたが面白いと思ったよ。人間もそのとおりだ。自分が交わることによって千差万別の味わいがそこに生れるようにならないかならない。

それでは禅の心は何か、無我だ、我執去った人間ね。そう言う人が一枚加わると総てのことが融ける。何事も、一生懸命やることだ、熱情をこめてやれば、自らそこに人と人の間が融けてくるものだ。」（文責 小泉康夫）

経済ポケット ジャーナル



活況おびる 神戸造船界

川崎重工、新三菱重工造船所はこのところ向こう二年分の受注量をかかえ空船台寸前までいった昨年とはうって変わった活況。海運市況も十月下旬いらい上向いており、殊に内航船はかなりよさそう。おかげでミナト神戸の経済界も明るい空気が流れ始めている。一時は鳴りをひそめ、ゴルフに押されていたマージャンも盛んになる気配。阪神間四十二社で構成している小型鋼船輸送協議会会長をしている扶桑海運社長永井庄治郎氏は「へたですよ」と言いながらも強引な手で知られ、仲間の社長連中とやるといつも一等だと豪語。さらに永井社長は「へただが、押して押しまくると相手がたじたじになる。これが手です」とマージャン哲学を一席、十二月十一日の総会でも同社員が一等賞をさらい、神戸の海運界では「扶桑海運は

社員までマージャンが強い」と評判になっている。マージャンの盛んなことが神戸経済の活況の証拠なら、マージャン大いに結構ということになりそう。

64年度神戸青年会議所新役員決まる

神戸青年会議所では次のとおり新役員が決定した。新理事長に石野成明(石野証券社長)が就任。直前理事長牛尾吉朗(ウシオ工業社長)なお、副理事長には、永田良一郎(永田良介商店代表取締役)、東敬三(ケイ・エス・アヅマ商会社長)、小田欽造(三ツ星ベルト常務取締役)、樽本久(樽本汽船常務取締役)の四名で、各委員会の委員長は、総務高橋宏彰(オリエンタルメツキ代表取締役)、定款木下健(三富商店取締役)、会員三好秀雄(三好医院院長)、広報塩見昭一(福德長酒造常務取締役)、渉外岩井浩次(岩井金物代表取締役)、L.T田崎俊作(田崎役)、真珠代表取締役、経済活

動雀部虎四郎(阪東調帯ゴム経理部長)、国際関係福田伊勢男(第一検査支配人)、社会活動合田督(三英物産代表取締役)、親睦島田文一郎(島文工業重役)の十氏である。

きものブーム、ニッケ うーる御召、登場

日本毛織KKでは新春、初めて和装界に「ニッケうーる御召」をデビューさせた。きもの復古の波にのってふだん着の域を出なかつたウール着物に、正絹メーカーとして有名な西陣のやぎとみと提携して、絹の感触と豊かな色彩を加え、外出着にも着こなせる高級品として新鮮味を出したもので大衆ウールより一歩前進というところ。



ニッケ目模のうーるお召

1枚2・3万円する高級呉服は、高嶺の花のお嬢さんでも8千円から1万円位の値段なので、気軽く高級ムードが味わえるだろう。日本毛織KK毛糸販売部組織課の白羽三雄氏は「ニッケの原糸に、日本の伝統的な技術で、色、柄、風合織り方に画期的な工夫がなされているので、きつとご婦人に喜んでいただけるで

しょう。昨年11月の発表以来、東京、名古屋、大阪と好評でしたがセンスのいい神戸の方々に満足いただける品です」と自信満々である。

神戸銀行、ニューヨーク に支店開設

創立二十七周年記念日に当たる十二月十二日に神戸銀行はニューヨークのマンハッタンに待望の海外支店第一号を開店、全行員あげて日本の神戸銀行から世界の銀行への飛躍を誓い合つた。開店披露はニューヨークの取り引先きを招待、本店から岡崎(忠)頭取、河内外国部長も出席して盛大に行なつた。

ニューヨーク支店は三十三年に開設した駐在員事務所を昇格させたもので、貿易為替業務を中心に貿易金融などの業務を行なう。海外支店開設について守田外国部次長は「神戸銀行は多くの銀行が合併して発展してきた銀行だけにこんどの海外支店開設は画期的なこと。これからいよいよ国際性を持った銀行になる」と大張り切り。

同行はロンドンにも駐在員事務所を設けて、英国やEEC諸国の経済、金融情報を収集しており、今後の国際的発展が期待される。またミナト神戸もますます世界各国との経済的なつながりが深まることになろう



呉井 陳 磯
みよこや

神戸 大丸 前
電話神戸(3)三三八八〜九番
大阪店 阪神百貨店三階
電話大阪(36)五五四八番
姫路店 やまとやしき百貨店三階
電話姫路(23)一一二一番
衣裳部 三宮町三丁目柳筋
電話③ 五一六五番

正 賀

瓦煎餅

■ クリームベリタス

● (地方送り海外発送承ります)
電話こ一報次第参上、商社マークせんべい

神戸三宮トア・ロード
本店③ 1番 2番 3番
南店③ 1 6 1 6 番

■ 神戸とエトランゼ ■

ゆたかな山荘の住人

H・S・ウィリアムス氏を訪ねて

陳 舜 臣



著書「ミカドの国」を書斎で見るウィリアム氏

頭の古い人は、いまだに須磨一谷で神戸が終っているという観念をもっている。しかし、実際には一谷の隘路をすぎてから塩屋、垂水、舞子など神戸市のベッド・タウンがひろがっているのだ。

塩屋に英人ジェームスのひらいた有名なジェームス山がある。静かな別荘地帯だったが、ここ数年来、山の周

囲に住宅が雨後の筍のように建ちはじめた。ジェームス山そのものは、ゆったりと落着いているが、あたりにひびく宅地造成のブルドーザーの音は、太平の眠りをゆるぶるかにきこえる。

ジェームス山からは鉢伏、鉄拐山が裏がわから見える。そして、その山麓まで新しい家が建ちならんでいる。

「いまに香港みたい、山の上まで家が建ってしましますよ」

ジェームス山のかつての管理者であり、いまもその大立物であるハロルド・S・ウイリアムス氏は、鉢伏山の裏を指して言った。

大立物という言葉は、いろんな意味が含まれている。

在留外人のなかでも、氏はたしかに異色の存在であろう。オーストラリア出身。四十三年まえ、メルボルン大学医学部の学生だったウイリアムス氏は、東洋にたいして青年らしい夢をもっていた。医学を学ぶかたわら、漢字を習い、東洋の文物について研究した。そして、大学三年のとき、観光団の一員として日本に遊ぶことになった。ふつうの観光客ではない。はじめての土地だが、書物を通じて、なじみぶかい日本である。青年ウイリアムスは日本の風物に、渴をいやす思いであった。

滞在期間がすぎても、彼は帰国しなかった。あと二年で医師の免状の待つメルボルン大学よりも、日本のもつエキゾチズムのほうが、はるかにつよい牽引力をもっていたのである。たまたま横浜のフィンドレイ・リチャードソン商会が事務員を募集している広告をジャパン・アドバタイザー紙上で見て、なに気なく応募した。そして採用されたのが、氏にとって運命の岐路だった。もし不採用だったら、メルボルンに、ドクター・ウイリアムスが開業したことであろう。

在留外人は、たいていこちら生まれとか、商用で来日して居つたケースが多い。しかし、ウイリアムス氏はそれとは反対に、日本に留るために職業をもったのである。

以来、ずっと日本にいます。横浜に半年いて神戸に移りクーパー・フィンドレイ商会の支配人となる。ニュージランド出身のジェーン夫人と結婚したのが二十八年まえ。新婚旅行で世界を漫遊した。

不幸な戦争がおこり、氏は帰国して濠洲軍に投じる。しかし、終戦後数週後には、いちばやく濠洲軍少佐とし

て進駐。そして、再び実業家として日本に居ついた。現在はA・キャメロン商会の支配人である。

「この人、オーストラリアに大学の友だち三人しかいません。こちらには、友だちたくさんいます。これからずっとこちらにいるつもりです」

かたわらの夫人はそう言って、あたたかい目をダンナさんにそそぐ。ジェーン夫人は絵をよくし、音訳の日本名「寺院」とサインする。(なんだか抹茶くさく、陽気な夫人にそぐわぬ名のような気がするが)

お見受けしたところ、ウイリアムス夫妻は対蹠的な性格であるらしい。それだからこそ、仲がよいのかもしれない。夫人はにぎやかなのが好きで、テレビでも毎日曜日午後六時の「てなもんや三度笠」は欠かさず、五分前になると家事一切を放棄して、テレビの前に坐り、この「サムライ・コメディー」をこらんにするそうだ。

「けども、ダンナさんはオペラとオーケストラのほかなにもみません」

と夫人はおっしゃる。

サムライ・コメディーがはじまると、本をかかえて書斎にのがれるウイリアムス氏のすがたが目に見えるようだ。

ウイリアムス氏は学究肌の人である。日本における外国人、居留地などの歴史について非常にくわしい。それも素人の旦那芸ではない。権威ある三冊の著書がある。

Tales of Foreign Settlement in Japan

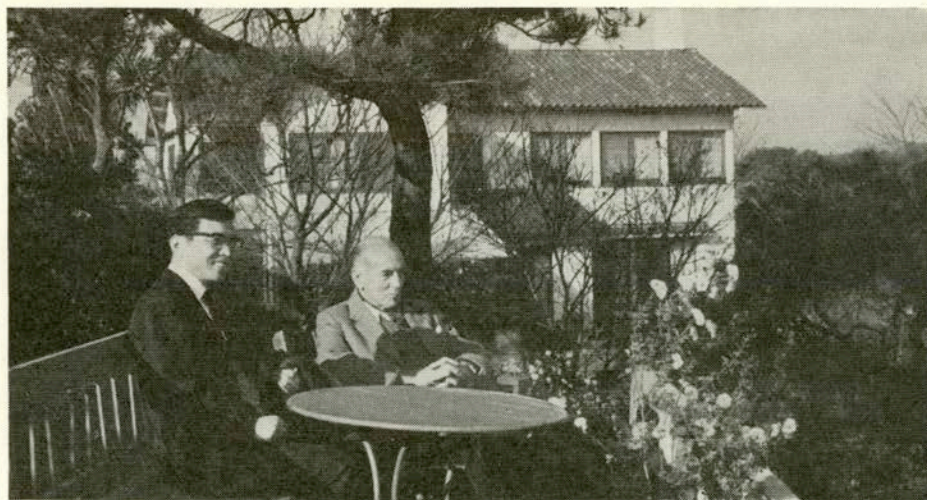
Shades of the Past or Indiscreet tales of Japan Foreigners in mikadoland

本の題名では日本のことを「ミカドの国」とロマンチックに表現しているが、内容は精確な歴史である。

「研究に大切なのは資料です。まず資料を集めなければなにもできません」

小柄で温厚な氏の口調は、大学教授を思わせる。

書斎でその膨大な資料を見せられたとき、まったくおどろいてしまった。日本在留外人関係の資料——ふるい



ジェームス山に2000坪の庭の
あるウィリアムス邸 左よ
り陳氏・ウィリアムス氏

新聞、写真、文書……とにかくよくも集めたものである。一八六〇年の東洋商業案内書もある。兵庫開港以前なの、ローブは出づるがYedo (江戸) Yokohama (横浜) Nagasaki (長崎) Deshima (出島) などの項に、その貿易商のリストがならんでいる。

「この本は日本ではほかにないでしょう」

在留外人死亡年月日、外人墓地埋葬者リストのたぐいから、戦前外人クラブ員が再度山に登ってサインしたノートを装幀して、FUTATABI BOOKとして保存しているのまである。

「資料を集めるだけではだめです。インデックス(索引)がなければ、資料は生きません」

大学で学問の方法論を拝聴しているような感じがした。なるほど、じつに克明な索引がつけられており、莫大な資料が一目瞭然、すぐに利用できるようになっている。おそらく氏は生まれながらのロマンチストであると同時に、学究なのであろう。ものごとを寸毫もゆるがせにしない。

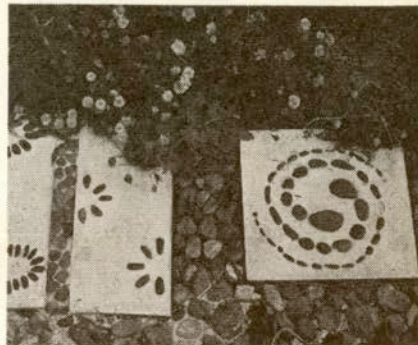
たとえば明治初年、横浜にあったCobbs & Co.という馬車会社の項には、その会社名の出でくる新聞記事から広告に至るまでそろっている。しかもその会社が事件をおこし、オーストラリアで訴訟がおこなわれたが、その裁判記録まで写してある。徹底的な調査だ。

ウィリアムス氏は週に二度ほどしか出勤しない。余暇があれば夫婦で車を駆って下関や長崎へ行く。図書館巡りである。あと一週間すれば、香港へ行くとおっしゃる。香港大学で資料をしらべるためだそうだ。

「横浜関係などのことで、日本にない資料が香港にあったりしてね」

そうした資料を確かめ、フィルムに収めるのだ。だから、氏の資料のなかには、たとえ一部なまの資料がなくとも、そうした写真がある。だから、網羅といえるのだ。氏の著書にはうつくしい挿絵やカットがはいっているが、それは寺院「ジェーン」夫人の描いたものである。

ウィリアムス氏が自らデザインして作った岩みち



「寺院」とサインされた美人画の前で
ジェーン夫人

この道を氏は「岩みち」と呼ぶ。そして、石垣にはさまざまな貝殻がセメントではめこまれている。近海で集めたもの、九州で集めたもの、遠く濠洲から渡来したものなど、その種類何百かわからない。これらの「岩みち」や「貝殻をはめた石垣」は、すべてウィリアムス氏自身がコテを手にして造ったものだ。日曜大工ならぬ日曜左官である。

ひろい菜園もある。レタス、アスパラガスなど、ビニールの簡易温室もあり、野菜は買ったことがないそうだ。これらの野菜も、氏が栽培しているのである。

これで氏がたんなる書齋にこもった資料の虫でないことがわかるだろう。与えられた生活をフルにエンジョイする、ゆたかな人生技術のもち主なのだ。

瀬戸内海を見下ろす絶景を前にして、美望にたえなかった。

資料を集め、整理し、これを後の人びとに伝える。なんでもないようだが、人間の営みを記録するのは大切な仕事である。それにうちこむ氏の熱意は貴いものだ。同時に、そうした仕事で、自然の美を理解し、鳥や貝を愛し、ものをつくるたのしみを知る人の手によってなされていることに、大きな安堵をおぼえた。

「正確な事実が大切です。歴史にはぜったいフィクションを入れてはいけません」

ウィリアムス氏はそう言ったが、狭い視野しかもため人の書いた歴史は、砂をかむような事実の羅列になってしまうだろう。空とぶ鳩に目を細めるような人にして、はじめて血の通った記録が書けるのだ。

氏の著書はまだ拝読していないが、氏に接すると、読むまえから、すでにその著書にも信頼感をもってしまっ

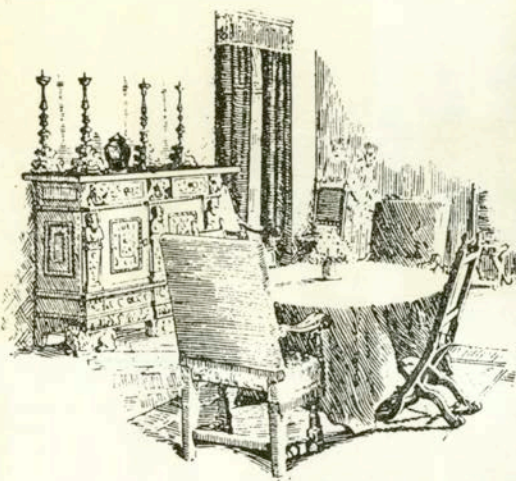
(作家)

性格はまるきり反対といっても、ダンナさんの仕事をよく理解し、協力を惜しまない賢夫人なのだ。
さて、こうした面だけを紹介すれば、ウィリアムス氏を本と資料の虫と誤解する人もいるだろう。だが、そうではないのだ。

別面を紹介しよう。

ジェームス山37号のウィリアムス邸は二千坪の庭をもつ。南にむかって斜面になっているが、石畳の道がつくられて、その右に、黒い小石で月、星、太陽などの模様がはめられている。「鳩道」と漢字をあしらった所もある。(鳩もたくさん飼っておられる)

家具・室内装飾・工芸品

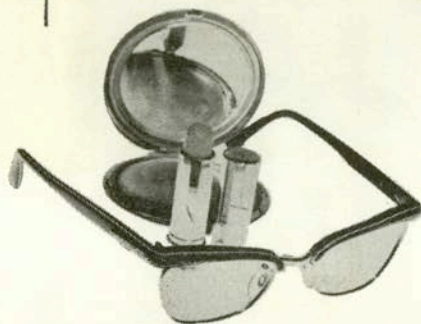


頌 春

永田良介商店

大丸前 TEL { ③9 3 7 3 7
③9 3 7 3 9

第三の美谷



EYEGLASSES CRATE THE THIRD BEAUTY

ハイファッション のめがね

神戸眼鏡院

元町 3 ・ 電 ③3112-3 ・ ③91443
③ 0551 (貿易部)

〈神戸クーポン歓迎〉

謹賀新年



田崎真珠株式会社

本社 神戸市葺合区旗塚通6丁目9 TEL(23)3321
六甲台工場 神戸市灘区六甲台町24 TEL(86)1445

神戸店
新聞会館秀品店内
銀座店
東京銀座(並木通り)
ヒルトン店
東京赤坂ヒルトンホテル内